

長野県小諸義塾高等学校の「3つの方針」

本校は、地域を舞台に多様性を重視し、グローバル^{※1}な視点で未来を創造する3科（普通科・ビジネス科・音楽科）融合校です。

【生徒育成方針】

実践的な学びをとおして本物に触れ、年齢や立場を越えたさまざまな人たちや多様な進路を志す者同士が協働して学ぶことで、新たな社会や価値観の創造に主体的に取り組むことができる人の育成を目指します。そのために、卒業までに生徒に身につけさせたい力を以下のように定めます。

- 1 地域や社会に目を向け、自ら課題を見出し、探究する力
- 2 地域や社会の諸機関及び地域人財と連携・協働する力
- 3 グローバルな視野で、多様な観点から批判的に考察する力^{※2}
- 4 知識と技術を活かし、自らの可能性と未来を切り拓く力、より大きな夢に挑戦する力

【教育課程編成・実施方針】

生徒育成方針に基づき、「地域と連携した学び」、「学科・教科横断型の学び」、「本物に触れる学び」を柱とし、以下の方針のもとに教育課程を編成・実施します。

- 1 確かな基礎学力を身につけた上で、一人ひとりが、夢に挑戦する学びに取り組みめるよう、多様な選択科目を設置します。例えば、普通科で開設される高度な普通科目、ビジネス科並びに音楽科で開設される専門科目を他科の生徒が選択することができるように配置します。
- 2 3年間の展望を持ち、「総合的な探究の時間」を編成します。学年、学科を横断する活動を取り入れ、多様な価値観を持つ者同士が、「小諸共学共創コンソーシアム^{※3}」と連携・協働し、より良い未来社会を創造するプロジェクト等に挑戦できるよう支援します。
- 3 授業に加えて生徒会活動や部活動などすべての教育活動において、「探究」の手法を取り入れ、楽しさや意味を見出し、「やってみたいこと」に挑戦できるよう支援します。
- 4 各学科では、次に示す事柄^{ことば}を目指し、教育課程を編成・実施します。
 - (1) 普通科 協働的に地域課題を探究する学びをとおして、多様な進路への可能性を追求し、高いレベルでの自己実現を目指します。
 - (2) ビジネス科 商業の専門性を伸長し、地域を舞台にした実践的な学びをとおして、未来を拓くイノベーション^{※4}の担い手の育成を目指します。
 - (3) 音楽科 音楽の専門的な学びに加え、他科と連携・協働した諸活動をとおして、世界を舞台に夢を実現する力の育成を目指します。

【生徒募集方針】

生徒育成方針に示した「新たな社会や価値観の創造に主体的に取り組むことができる人」を目指して、

- 1 自分の夢について一生懸命考え、その実現に向けて努力することができる生徒
 - 2 より良い未来社会を創造するため、失敗を恐れずに挑戦することを楽しもうとする生徒
 - 3 多様な価値観を受け入れ、自分と他人を大切にし、協働することができる生徒
- そして、学習や生徒会活動、部活動などに積極的に取り組み、“最高の青春”を楽しみたい生徒を待っています。

※1 地球規模の視野で考え、地域で行動すること

※2 相手の話に耳をかたむけ、自分の考えが正しいかどうかを吟味し、よりよい判断をする力

※3 行政、教育機関、産業界、地域住民などが当事者意識をもって参画し、連携協働する組織

※4 革新的な技術や発想により新たな価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらすこと